

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して ～トヨタ環境チャレンジ2050～

トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ と、プラスへのチャレンジ)を実施していきます。

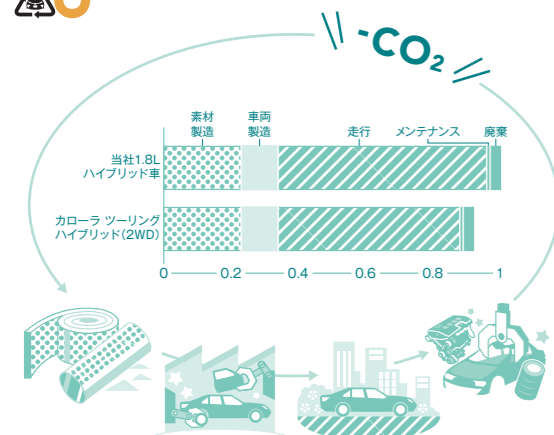
<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/challenge2050/>



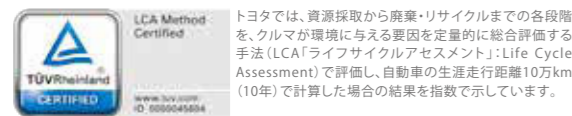
CO₂ “0” へのチャレンジ ～環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み～

クルマの一生のCO₂削減をデザインしています

CO₂0 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ



トヨタでは燃費を良くするだけでなく、設計段階から、製造・廃棄・リサイクルにいたるクルマの一生を通して、CO₂排出量を削減するための取り組みを行っています。



トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」:Life Cycle Assessment)で評価し、自動車の生涯走行距離10万km(10年)で計算した場合の結果を指数で示しています。

トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

燃費の良いクルマを選ぶと、CO₂の削減に協力できます

CO₂0 新車CO₂ゼロチャレンジ



クルマは、燃費が良くなればなるほど、CO₂の排出量を削減することができます。トヨタでは、燃費を向上させるために、あらゆる部品の軽量化や効率化を推進しています。

エコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています

CO₂0 工場CO₂ゼロチャレンジ



カローラ ツーリングをつくる工場では、いいクルマを環境に負荷をかけることなくつくるために、従業員が日々知恵を絞り、様々なアプローチを行っています。エネルギーを必要としない装置の考案や、設備のシンプル化など、徹底的な省エネ活動を順次実施し、CO₂排出量ゼロを目指して削減に取り組んでいます。

地球環境へ プラス “+”のチャレンジ

～より良い環境をつくるための
トヨタの取り組み～

緑をつなぐ活動をひろげていきます

人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ



カローラ ツーリングをつくる工場では、生物多様性を保全する目的で、工場の敷地内での植林や、ビオトープの整備を行っています。また、工場の敷地内だけでなく、地域周辺の生きものや生態系の調査、天然記念物であるカキツバタ群落の保護活動などにも参加。地域の方々と共に力を合わせて、緑豊かな環境をひろげていきます。

車両型式	6AA-ZWE211W	6AA-ZWE214W	3BA-ZRE212W	3BA-NRE210W
エンジン	総排気量 L 1,797			
駆動装置	前輪駆動		電気式4輪駆動	前輪駆動
	電気式無段変速機		CVT	6MT
車両重量	1,350 ~1,370	1,390	1,410 1,430 1,450	1,290 ~1,310 1,330 1,320
燃料消費率 WLTC	燃料消費率 *1 (国土交通省審査値)	29.0	25.6 26.8 24.4	14.6 15.8
	CO ₂ 排出量	80	91 87 95	159 147
	燃料消費率 *1 (国土交通省審査値)	35.0	30.8 31.0 28.4	- - -
	CO ₂ 排出量	66	75 75 82	- - -
参考	2030年度燃費基準優良車*2*3			
排出ガス	認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)	平成30年基準排出ガス75%低減レベル *3		平成30年排出ガス規制適合 *3
	認定レベル値 または適合規制値	CON/MHCNOx g/km 1.15/0.025/0.013		1.15/0.1/0.05
車外騒音	加速/定常/近接*4	70(規制値)/-/68 *5	70(規制値)/-/69	70(規制値)/-/74
冷凍の種類(GWP値*6)/使用量		HFO-1234yf(1*7)/470		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*8)		
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*9)		
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)		
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)		
車室内VOC*10		自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*11以下)		
	リサイクルし難い材料を使用した部品	TSOP*12	バンパーカバー、インストルメントパネル、ドアトリムなど	
リサイクル関係	樹脂、ゴム部品への材料表示	TPO*13	SRSカーテンシールドエアバッグ、ガラスランなど	
	リサイクル材の使用	再生PP 再生PET	あり	デッキサイドトリムなど フロアカーペット・サイレンサー類など



*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準 *3. WLTCモード走行 *4. 平成28年騒音規制 *5. 寒冷地用排気管なしの場合69dB *6. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) *7. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。 *8. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 *9. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ、室内蛍光灯)を除く。 *10. VOC: Volatile Organic Compounds *11. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値 *12. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer *13. TPO: Thermo Plastic Olefin

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

リサイクル料金表

	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
全車	7,380 円	1,930 円	-	130 円	290 円	9,730 円

■リサイクル料金は'21年7月時点の金額。

■リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を、新所有者(譲受人)からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは取り扱い販売店におたずねください。